

# 「スマートICとは」

## 背景

- ◇ 我が国の高速道路におけるインターチェンジ(IC)の設置間隔は約10kmと、諸外国の約4~5kmに比べ2倍となっています。また、高速道路が通過する市町村のうち、約3割はICが設置しておらず、追加ICに対する地域の要望も強くありました。
- ◇ このような背景のもと国土交通省では、既存の高速道路の有効活用や、地域生活の充実、地域経済の活性化を推進するため建設・管理コストの削減が可能なスマートインターチェンジ(ETC専用IC)を導入することとなりました。



## スマートインターチェンジとは

- ◇ スマートインターチェンジ(スマートIC)は、高速道路の「本線」や「サービスエリア、パーキングエリア」から乗り降りができるように設置されるICであり、通行可能な車両(料金の支払い方法)を、ETC車載器を搭載した車両に限定しているICです。
- ◇ 利用車両が限定されているため、簡易な料金所の設置で済み、料金徴収員が不要なため、従来のICに比べて低コストで導入できるなどのメリットがあります。

本線直結型とは

- スマートICのうち、高速道路本線へ直接アクセス路を接続させるもの。
- サービスエリア、パーキングエリアの存在しない箇所を設置することができる。



本線直結型イメージ図



水戸北スマートIC(常磐自動車道)

SA・PA接続型とは

- 高速道路との接続箇所が、サービスエリア・パーキングエリアであるもの。
- 既存の施設を活用することにより、比較的容易にアクセス路を確保することができる。



SA・PA接続型イメージ図



三芳スマートIC(関越自動車道)

# 「奥州スマートICの概要」

○東北自動車道の水沢IC～平泉前沢IC間はIC間が17.5kmと長く、市中心部から離れているため、利便の向上が求められています。

## 《東北自動車道県南地域IC間隔》



## 《スマートインターチェンジ設置位置》



- (路線名) 東北縦貫自動車道 弘前線
- (連結位置) 岩手県奥州市胆沢区小山
- (接続施設) 上り線 市道附野下笹森線  
下り線 県道衣川水沢線
- (運用形態) 一旦停止型フルインター形式
- (運用時間) 24時間
- (対応車種) ETC車載器を搭載した全車種

### ◆スマートIC設置効果

- 効果① 基幹産業(農業)の振興
- 効果② 救急医療の支援
- 効果③ 居住者の利便性向上
- 効果④ 製造業の支援
- 効果⑤ 観光・イベント誘客

